

新 生 児 学

1 担当教員名

【 研究指導教授 】 教授 山 田 恭 聖

【 科目担当者 】

2 教育目標

(1) ねらい

- ・学生は、新生児疾患、特に呼吸器疾患・循環器疾患についてその病態生理を理解する
- ・学生は、上記の疾患を中心に、それに対する研究手法を理解する
- ・学生は上記の疾患について研究するための基本的な実験手技を習得する

(2) 学修の到達目標

- ① 学生は、新生児疾患、特に呼吸器疾患・循環器疾患についてその病態整理を説明できる
- ② 学生は、臨床論文作成に必要な基本的な臨床統計学を活用できる
- ③ 学生は基本的な実験手技、ELISA/PCRなどの汎用性の高い手技を実施できる

3 授業内容

【 講 義 】	新生児疾患の病態生理およびその研究の現状について、教科書や最新の文献を用いて解説する。また今後の展望や問題点について討論する。
【 演 習 】	新生児疾患の文献を用いて、その研究方法や統計手法について批判的かつ建設的に討論を行う。基本的な動物実験や基礎実験に参加し手技を習熟する。
【実験研究】	教員から与えられたテーマについて、教員の指導の下に実験計画を立案する。実験計画に基づいて研究を実施し、その成果をプレゼンテーションする。

4 成績評価の方法・基準

- ・論文の要点を教員にプレゼンテーションし、口頭試問を行う。プレゼンテーションの内容および口頭試問への回答が適切である場合に合格とする。
- ・研究手技に関する講義および演習後に、習得した研究手技に関するレポートを提出する。研究手技に対する理解度を教員が評価し、理解が十分であると判断した場合に合格とする。
- ・研究成果を教員にプレゼンテーションし、口頭試問を行う。また、プレゼンテーション内容に関するレポートを提出する。教員は口頭試問とレポートを総合的に評価し、成果が十分であると判断した場合に合格とする。

5 教科書・参考図書

- ・Avery's diseases of the newborn, 10th edition. C.A.Gleason & S.E.Juul. Elsevier, 2018

6 準備学習(予習, 復習等)及び必要な時間

事前にテキスト, 関連する最近の論文に目を通しておく。(1週間に7時間程度の予習・復習が望ましい。)

7 課程修了・学位授与方針と当該授業科目の関連

新生児学に関する論文作成を通して, 高度な専門知識と論理的思考を伴う 研究実践力, 特に専門領域での様々な課題に対応できる実践力を修得できる。

8 課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法

- ・講義, 実習中に疑問点の解説を行う。
- ・レポートに関しては教員との面接で討論することでフィードバックを行う。

9 履修上の留意点

特になし

10 オフィスアワー

職名	氏名	曜日	時間帯	場所	連絡先
教授	山田 恭聖	火	16:00-17:00	C棟10階 医局内教授室	内線 87192
		木	16:00-17:00		